

# 横道環境活動組織

## 三期目に向けて

令和6年度から三期目の活動が始まります。これまで大きく変わるところはありませんが、おさらいのつもりで読んでいただければ幸いです。

### ○農地維持支払

草刈り、水路の泥上げ、水路・農道維持管理などに対する支払いで、基礎的な活動です。

### ○資源向上支払

①水路・農道等の簡単な補修に対する支払いです。水路施設など年々補修箇所が増えていきますので、土地改良区などと連携して取り組みます。

②景観形成や環境保全の活動などに対する支払いです。プランター設置や通学路の草刈などが該当します。

③多面的機能の更なる増進を図る取組み：環境保全活動の強化、広報活動などに対する支払いです。環境保全活動に参加していただいた皆様には、毎年四月に前年度分の手当等をお支払いしています。

このほかにも、安らぎ・福祉・教育機能の活用や、農村コミュニティの強化などのメニューもありますので、やりたい取組みなどがありましたらお聞かせください。

なお、全国各地の活動を紹介した多面的機能支払メールマガジン「農村ふるさと保全通信」が毎月配信されています。先進的な取組みからユニークな取組みまで紹介されています。興味のある方はご覧ください。

事務局

### 活動記録・予定

- 4月2日 活動費支払い
- 6月8日 プランター植栽
- 7月1日 総会開催
- 4月10日 法花寺・森川用水草刈り
- 12月 農地維持活動実績報告配布
- 令和6年 広報誌発行
- 3月中旬 江波(自治会と共催)
- 3月31日 活動費支払予定
- 4月7日



## 多面的機能・SDGs



一 「農業・農村の多面的機能」と書くこと難しいことのように思えますが、米や野菜を作るための農地や、生活するための農村としての本来の機能のほかに、さまざまな「めぐみ」をもたらしていることを言います。そのめぐみをいくつご紹介いたします。

○洪水防止機能：水田は雨水を一時的に貯留、洪水を防ぐ働きがあります。これを人為的・体系的に行うのが「田んぼダム」です。

○土砂崩壊防止機能・土壌流出防止機能：土砂崩れや土の流出を防ぎます。

○河川流況安定機能・水質浄化機能：流況の安定や、川の水をきれいにする。

○大気調節機能・生物多様性を保全する機能：暑さを和らげ、また、多様な生き物を育みます。

○安らぎをもたらす、また、教育の場としての機能もあります。

二 持続可能な開発目標「SDGs」は、持続可能な世界を目指す国際目標です。一方、多面的機能支払交付金事業は、地域資源の適切な保全管理を推進するなど、良好な地域社会の形成に重要な役割を果たすものです。SDGsと本事業の活動目標は持続可能な社会を目指す点において共通しており、親和性が高いものと考えられます。SDGsの17の目標のうち、「貧困をなくそう」と「人や国の不平等をなくそう」以外の15の目標（「陸の豊かさを守ろう」など）に、本交付金活動が貢献しているといわれています。

事務局

### 続へ旅に出ませんか

#### 佐渡にまつわるエトセトラ

昭和初期に約12万人いた新潟県佐渡の人口が、5万人を割りました。筆者は農業用ダムや水路建設にかかわる仕事で3年6か月赴任してました（島流しではありません）ので、佐渡の将来を思いながら、あまり知られていない話を紹介します。

#### ○砂金採りの不思議

船が小木港に着くと、島で最初に観光バスが停まるのが「ゴールドパーク」です。砂金採り体験では、はじめは金塊を作ろうと袖まで濡らして懸命に探しますが、砂金が無尽蔵にあるわけでもなく、ため息が漏れてくるころに小瓶を持った女性スタッフが通過します。しばらくするとあちこちで歓声が上がります。わかっています、それはそれで楽しいものです。

#### ○佐渡おけさの「おけさ」ってなに？

諸説ありますが、島での定説は本土の寺治芸者「けさ」説です。九州の船乗りが伝えた民謡を「けさ」がアレレンジし、佐渡に伝わったようです。チコちゃん番組風だと「おけさの意味も知らずに、佐渡おけさを唄ったり、おけさ柿を食べている日本人のなんと多いことか」となります。

#### ○プチ漂流体験2題

本土と島を約1時間で結ぶジェットフォイルは快適な乗り物です。通常は、新潟港を出てしばらくのこと。ジェットポンプが故障し船が浮かなくなりました。小さなスクリーンで戻りましたが、浮かないジェットフォイルは最も酔いやすい乗り物でした。台風シーズンにギリギリの波高で直江津港を出発し、なんとか小木港が見えてきたころ、高波で着岸できないとアナウンスがあり、約3時間沖合を漂流？したことがあります。軽食が出たり、周りの方と親しくなったり、船員の対応も丁寧で貴重な体験でした。

#### ○放送されない伝統芸能

佐渡はトビシマカンゾウをはじめとする花の島であるとともに、伝統芸能の島です。能、狂言や人形芝居、鬼太鼓など文化の香り高い芸能のほかに、各地で根付いた「つぶるさし」「ちとちんどん」「女相撲」など放送禁止用語満載の芸能が多くあります。昭和の終わりにNHKで放送しようとした五つの演目がすべて放送倫理違反ということで、収録されずに帰ってきたと聞きました。興味のある方は、毎年開催の「大崎そばの会」で上演されることありますのでご鑑賞ください。

佐渡は、季節によっていろいろな表情を変えます。ホテルで宴会会をし、金山を見学して帰ってくるのも悪くありませんが、これからの佐渡旅行は従来型の観光ではなく、壮大な歴史ロマンや季節ごとの大自然を満喫できる旅にしたいものです。旅行を計画されている方、興味のある方は、季節ごとの見どころなどお教えできると幸いですので、何なりとお聞きください。朱鷺も待っています。

横道陽溜りの会 小林俊武

### あ тогоがき

ウクライナやガザ地区の映像を見るのが嫌で、最近テレビを見なくなるといふ人がいると聞きます。戦争は海の向こうのことではなく、地球に住むものとして、気が付けば普通の生活に入り込んでいたという恐怖は味わたくしありません、私たちがまた当事者であるという意識で、成り行きを見守っていきたく思います。

戦争が廊下の奥に立ってゐた  
白泉 句

